

	大項目	小項目	審査の視点
1	業務への理解及び役割	1	本業務の目的・役割を深く理解し、「生きづらさを抱える方」のための居場所を実現するためのシステム構築の具体策が提示されているか。
2	運営体制	1	法人として、3Dメタバース空間を活用し、多様なニーズを抱える人々（福祉・教育・就労支援等）の社会参加や交流を促進するシステム構築の業務実績を有しているか。
		2	本業務を適切に遂行するための十分な専門知識と実務経験を有する担当者が配置されているか。
		3	法人の財務状況等から、安定的かつ継続的にシステムを提供・保守できる事業運営体制が見込めるか。
3	システムの仕様・機能	1	利用希望者を誰一人取り残さないため、十分なアカウント発行数や同時接続数が確保されているか。また、将来的な利用者の増加にも柔軟に対応できる拡張性を備えているか。
		2	利用者の参加ハードルを下げる使いやすい仕様となっているか。
		3	利用者の多様な目的や用途に応じた空間設計がなされているか。
		4	利用者が孤立することなく継続的に参加・関与できるような仕組みや機能が設計されているか。
		5	利用者が心理的負担なく自身を表現し、運営スタッフや他利用者と円滑なコミュニケーションを図れる工夫があるか。
		6	システム上の対策により、利用者が不快な思いをすることなく、心理的安全性が担保される仕組みが構築されているか。
		7	3Dメタバース空間内の安全確保および犯罪防止のため、管理者による迅速かつ適切な利用者制御やコミュニケーション管理が可能な機能が備わっているか。
4	セキュリティ・保守体制	1	不正アクセスや情報漏洩を防止するための堅牢なセキュリティ対策が講じられているか。
		2	3Dメタバース空間の安定稼働が保証され、障害発生時の迅速な復旧やデータ保全を行うための運用・保守体制が整備されているか。
		3	専門職スタッフが機能を十分に活用するためのサポート体制が整備され、運用上の課題に対する継続的な検証・改善を行う体制があるか。
5	独自性と付加価値	1	仕様書の要求水準を超え、本事業の価値をさらに高める独自の付加価値提案や工夫が盛り込まれているか。